

# 地域のふれあいと生涯スポーツの振興を目指す

七宗町教育委員会

## 七宗町レッキーマラソン



### 1. はじめに

日本最古の石の町七宗の中で、体力づくりと健康維持のきっかけづくりをし、併せてスポーツ振興を目指すことを目的とし、平成9年12月14日に「第1回レッキーマラソン」が開催されました。当初は七宗町体育協会が主催しましたが、第2回大会からレッキーマラソン実行委員会が運営しています。また、大会の名前は、七宗町を流れる、飛騨川の上麻生礫岩（れきがん）から「20億年前の日本最古の石」が発見されたことにちなんでマスコットキャラクターとして誕生したのが「レッキー君」です。（今ではレッキーちゃんも加わりました）地球の誕生を知る貴重な資料となるこの石のことを、みなさんに知っていただくために、名称を「レッキーマラソン」としています。

今回で22回目を数えるレッキーマラソンですが、第1回大会は参加者が215名で、第

22回大会となる今大会には900名を超える参加者がありました。特に記念大会の第20回大会ではゲストランナーを、お迎えし1,026名の参加者と共に盛大に開催することができました。



## 2. 地域のふれあいとスポーツの振興



現在のレッキーマラソンの趣旨は前述したものから少し変わり、「体力づくりと健康保持を目的とし、併せて、地域のふれあいとスポーツの振興を図り、生涯スポーツの必要性や重要性を知り得ることを目的とする。」こととしています。

七宗町民憲章では「スポーツに親しみ健康で明るい家庭をつくりましょう」を掲げています。

「町民一人1スポーツ」の実践に向けても取り組みを行っています。レッキーマラソンもその取り組みの一部です。

レッキーマラソンは多くの地元住民の協力によって支えられており、コースの景観を美しくするための清掃活動やゴール後の豚汁提供、ランナーの安全を守るための交通誘導等はすべて地元住民の協力がなければ開催できません。コース沿道の住民は自宅近くをランナーが走るときに声援を送るなど、地元にも親しまれています。レッキーマラソンは単なる順位や記録等目標にする大会ではなく、町外より訪れるランナーに地元住民のおもてなしやふれあいを楽しんでいただくマラソン大会になっています。



## 3. まとめ

スポーツ振興は、実際に体を動かす人をイメージしがちですが、そこに地域のふれあいを入れることにより、ランナーとボランティアスタッフが一体なり、「地域のふれあいとスポーツの振興」を目指していることが人気を集め22年間続き、この先も続いていくのが「七宗町レッキーマラソン」です。

